

緑化だより

No.26 平成20年4月号



ベニスモモ：平成19年3月28日撮影

- | | |
|-------------------|-------------|
| ○きのこのない食卓なんて | ○研修会・イベント紹介 |
| ○樹のあれこれ | ○花だより |
| ○研修会・イベント報告 | ○お知らせ・案内 |
| 3/9: 早春のバードウォッチング | |

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp



きのこのない食卓なんて

今月からきのこの栄養や薬用的効用などについて紹介します。第1回目は脳細胞の活性化の話です。

最近ヤマブシタケというきのこがスーパーマーケットなどで売られるようになりました。その形は特徴的で、傘も柄もないかわりに全面から針状の突起を無数に伸ばし、木の幹や切り株に垂れ下がるように生えています。

このきのこが注目されているのは、脳細胞を活性化させる成分が含まれていることが分かったからです。脳の老化やアルツハイマーの予防になるのではないかとわれています。筆者も『今、やろうとしていた事は何だったかなあ』と悩んでみたり、さっきまで持っていたものをどこに置いたか忘れていたり、今朝言った事も忘れていたり脳細胞の衰えを顕著に感じてきているところです。このヤマブシタケのお世話にならないといけなのではと後悔しています。

最近、野生のヤマブシタケに出会うことも少なくなってきましたが、ブナ・ミズナラ・コナラなどの広葉樹の枯れ木・倒木などに発生します。

『第1話 脳細胞の活性化』



ヤマブシタケ

樹のあれこれ

『ソメイヨシノ』 バラ科サクラ属



ソメイヨシノ

日本人にとって『サクラ』は最も親しみのある樹木ではないでしょうか。日本花の会によると園芸品種を含めると380種類ほどに分類されており、地域の変種などを含めると、その数はまだまだ多くなります。緑化センターでは59品種・約1,000本のサクラがあります。

サクラと言えば『ソメイヨシノ』ですが、明治初期までは『ヤマザクラ』でした。サクラの時期に話題になる開花前線(北海道・沖縄以外)は、ソメイヨシノが基準になっています。各地

に沢山植えられていることと、ソメイヨシノが遺伝的に同一(クローン植物)で開花に個体差がなく同時に開花することなどによります。

ソメイヨシノは殆ど結実しないため、接ぎ木などにより増殖されました。名前の由来は、江戸末期に染井村(現在の東京都豊島区駒込)で吉野桜として売り出されていましたが、奈良県の吉野山のヤマザクラと混同しやすいので、1900年に園芸雑誌において『染井吉野』に改められました。

ソメイヨシノはエドヒガン×オオシマザクラと考えられていましたが、千葉大などの遺伝子解析によると、コマツオトメ×オオシマザクラの可能性が高いと昨年発表されました。コマツオトメはエドヒガン系の栽培品種になります。園内では、センター池から学習展示館への坂道周辺がソメイヨシノの花見スポットになります。

研修会・イベント報告

3月9日(日) 『早春のバードウォッチング』

啓蟄を過ぎ、少しずつ暖かくなり始めている中、緑化研修会『早春のバードウォッチング』を開催しました。午前9時からの開始で日陰に入るとさすがに肌寒い状況でしたが、47名の方が参加されて、賑やかな研修会となりました。

賑やか過ぎて鳥が逃げるのではと心配しつつ管理事務所を出発し、～苗畑～東山作業路～林間広場～樹木見本園というコースを歩いて観察を行いました。カワラヒワ・ルリビタキ・ミヤマホオジロ・ヤマドリなど16種類の野鳥を確認し、最後にクログミをじっくりと観察しました。

クログミは、本来夏鳥でこの時期に観察されるのは珍しく、昨年秋に南に移動せず、この近くで越冬したものが一足早くやってきたようです。ツグミ属ではもっとも小さい種類(L22cm)で雄は背中が黒色、腹が白色という特徴ある色彩です。

センターではこれまでに109種類の野鳥が視認・聴認されています。野鳥に興味のある方は、野鳥愛好家の方々がセンター内でバードウォッチングされていますので一緒に歩かれては如何でしょうか。



クログミ



ルリビタキ

研修会・イベント紹介

○4月3日(木) 『早春の花を見て歩こう』 10:00～12:00 管理事務所前集合

講師: 緑化センター職員 正本 良忠

先月紹介した黄色の花を咲かせる樹木を中心に早春に咲く花を中心に観察して歩きます。ソメイヨシノもちょうど咲き始める頃だと思います。

○4月11日(金) 『4月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合

講師: 植物研究家 中塚 道則 先生

今年から毎月第2金曜日に実施する自然探勝です。各季節で表情を変える自然を観察してみても如何でしょうか。もちろん、桜の花も観察して歩きます。

○4月20日(日) 『愉快的植物雑学と八重桜めぐり』 10:00～12:00 学習室集合

講師: 森林インストラクター 長井 稔 先生

『なるほど!』や『そうなの!?!』と思わず納得してしまう植物雑学のお話と八重桜を中心とした植物観察を行います。

花だより 花について

春分の日を過ぎると、あちこちで色々な花が咲き始めます。今回はその『花』について考えてみます。

そもそも花とは何でしょうか。花とは植物が自分達の子孫を残すために植物の一部を変化させて形成した一つの器官になります。それではどこが変化したのでしょうか。それは、『葉』です。

その変化が良くわかるのは、4月末に開花する里桜の『関山(カンザン)』『普賢象(フゲンゾウ)』です。これらの花を観察すると、花の中心部に緑色の葉の先端部分を見ることができます。これは植物界の発生の段階で観察される『先祖帰り』という現象です。

花にはそれぞれ雄花・雌花があり(両者を持つ両性花・それぞれしか持たない単性花もあります)、受粉した後、果実を形成し種子ができ、子孫を残していくのです。

通常、花は枝の先端や葉の付け根などに付けますが、ハナイカダは葉の上に花をつける変わり物です。



普賢像(フゲンゾウ)の葉化した雌しべ



ハナイカダ

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 臨時開園のお知らせ

4月、5月は毎日開園します。桜や春の花をゆっくりお楽しみ下さい。

◎ 20年度の緑化研修計画・展示会計画が決まりました

緑化研修計画が出来上がりました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◎ 展示会のお知らせ

○緑化センターの桜写真展 展示場所:レストハウス

4月10日(木)～4月24日(木):緑化センターで見られる桜の写真を展示します。

○木の実を使った工作 展示場所:レストハウス

4月5日(土)～5月23日(金):木の実で作られた動物や怪獣を展示します。

◎ 4月29日(日)は『みどりの集い』を開催します。

緑の恵みに触れるイベントが盛り沢山です。体験コーナーや販売コーナーなど様々な催しがあります。

◎ 平成20年度緑化センターオリジナルカレンダーが完成しました

緑化センターのオリジナル年度カレンダーが出来上がりました。数に限りがありますので、お早めどうぞ。